

2月市議会定例会

一般質問

3月4日(火)から3月6日(木)の3日間の日程で、15人の議員が一般質問を行いました。紙面では一部の質問を要約して紹介します。各議員の全ての質問内容はホームページでご覧になれます。



質問内容詳細

3月4日(火)

自民クラブ(代表質問)
仙波憲一議員(40分)



(1)持続可能な地域社会について

①人口減少と地域社会

②地域経営の視点

③地域経営の戦略

問 人口減少社会において、持続可能な社会を実現させるには、住民と行政が一体となり、開放型内発的発展にのっとり、新しい地域を創出していくことが求められると思うが、所見を伺う。

答 本市が持つ資源や特性に根

差した目指す町の将来像と独自の戦略を構築することが重要と認識しており、政策立案においては、対話に基づく市政運営を基本として、地域の声を反映した施策を展開していきたいと考えている。新年度には、市内全校区・地区を巡るタウンミーティングを開催し、市民が真ん中となるような町づくりを進めていく。

(2)こども誰でも通園制度について

(3)自治会活動への支援について

問 地域運営組織の取り組みを評価する中で、現在の地域が大きな変革に対応していくには、行政からの財政支援や人的支援が急務と考えるが見解を伺う。

答 地域運営組織は、地域の自発的な行動などにより取り組むものと考えている。行政の役割としては、地域の課題を解決するため、組織の立ち上げや設立後の持続的な運営のための財政支援、地域での話し合いや活動をサポートする職員の配置、各種事業実施におけるアドバイスなどを行う外部専門家の派遣などの人的支援が必要であると考

えている。
(4)大学入学共通テスト会場について

みらい新居浜(代表質問)
合田晋一郎議員(40分)



(1)わくわくする楽しい新居浜の未来図について

①都市機能誘導区域

②四国新幹線

③路線バス再編計画

(2)人口減少対策について

①子育て支援の充実

②地域経済の活性化

問 地域経済の活性化に向けて、トップセールスに加え、人材確保や新たな連携について、具体的にどのような取り組みのか伺う。

答 市産品の流通・販売対策、企業立地や誘客促進などを推進する(仮称)にいはま版営業本部の発足を目指しており、発足後、市内企業と連携しながらトップセールスを行う。人材確保については、市内高等学校との連携を強化し、合同企業説明会への参加者増加に努める。また、多様な力を借り、本市産業の担い手へのアプローチ方法を模索し、市外からの人材確保も含めた担い手支援に努める。

③ジェンダーギャップの解消

問 若者や女性の市外流出を抑制するために、市として、また

民間において、男女の性差によって生じる格差の解消を根付かせていくためにどのように取り組むのか伺う。

答 公民館での出前講座などを通じて、市民のジェンダー平等意識の向上を図りたいと考えている。また、先進の取り組み事例を紹介するなど、事業所を積極的にサポートし、ジェンダーギャップの解消を図り、女性の能力が発揮され、輝くことができるまちづくりの推進に努める。

(3)防災能力の強化について

(4)夜間中学について

(5)建築行政について

公明党議員団(代表質問)
黒田真徳議員(40分)



(1)歳入確保戦略について

(2)次期ごみ処理施設の整備について

問 更新の時期が近づく本市の清掃センターの焼却施設だが、高額な経費を要するごみ処理施設の整備、運営において、西条市との広域化、集約化についての所見を伺う。

答 少子高齢化、人口減少が大きな課題となる中、ごみ処理施設に限らず、さまざまな面で広域連携を進めていくことが重要

3月5日(水)

自参改革クラブ(代表質問)
山本健十郎議員(40分)

自治を取り巻く環境は厳しさを増す中、財政調整基金残高を回復させながら、市長の考える発展と継続を両立できる財政構造を構築する具体的な方策は。

では、西条市の状況を注視しつつ、本市の方向性をできる限り早期に判断したいと考えている。

(3) 居住誘導によるコンパクトシティについて

① 学校編成

② 上下水道設備

(4) **がん予防 がんとの共生について**

問 がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会の構築に向け、ウィッグや胸部の補正具購入費用の補助について所見を伺う。

答 現時点では費用助成は行っていないが、治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加していることから、アピアランスケアについて、国や県の動向、県内他市町の状況を参考に調査研究し、がん患者が治療と日常生活を両立し、尊厳を持つて生活できる地域共生社会の構築を目指したいと考えている。

(5) シニアカーについて

(6) 高齢者の特殊詐欺被害防止について

(1) 新しいいはまについて

(2) 小中学校、保育園、幼稚園の給食費無償化について

(3) 外国人労働者への支援について

(4) **中学校部活動の地域移行について**

問 本市は、令和7年度で推進計画、方針を策定し、国の方針に従い進めると考えるが、令和8年度以降の具体的な進め方とスケジュールを文部科学省はどう考えているのか。

答 令和8年度以降、これまで指導に携わった教職員の意向を調査し、最適な地域展開の手法を検討委員会に諮りたいと考えている。また、国が考える具体的なスケジュールとしては、前期の令和8～10年度に、休日の地域展開に着手し、後期の令和11～13年度に、前期での活動の検証を行った上で、平日の改革を推進するとの方針が示されている。

(5) 小中学校の規模適正化と適正配置について

(6) **財政運営について**

人件費や物価高騰など地方

公明党議員団
高塚広義議員(30分)

(1) 財政と物価高騰対策について

(2) 防災について

① 南海トラフ地震への備え

② 防災センターの利活用

(3) **带状疱疹ワクチン接種の助成について**

問 带状疱疹ワクチンが今年4月より定期接種となる。高齢者の罹患率が高く、後遺症も懸念されている。接種費が高く接種を断念することのないよう、市としてどのように取り組むのか。

答 令和7年度から国の指針に基づき、県下統一で通年実施の予定である。対象者は、65歳以上の高齢者、60～64歳のヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する人とし、65歳を超える人については、5年間の経過措置として、5歳年齢ごとに実施する。また、接種費の負担については、国の負担金は現時点で未定だが、自己負担金は県下統一価格となる。

(4) **学校体育館の防災機能強化について**

問 南海トラフ地震の発生確率が高くなったことで避難所となる小中学校体育館の空調設置が

無会派

小野志保議員(10分)



(7) 市民文化センター、総合運動公園の建設について

(1) 学校に通いづらい児童生徒への支援について

① オンライン授業

② 校内サポートルーム

③ 絆アンケート

(2) 障がい者雇用について

① 市職員の障がい者雇用の現状と促進

② 法定雇用率達成への取組

③ 人材確保事業

急がれる。空調効率やランニングコストも検討の上、今後の目標年度とスケジュールを伺う。

【答】 令和7年度に設計業務を予定しており、その結果を踏まえ、令和8年度から早期に市内全ての小中学校体育館に空調設備を整備していきたいと考えている。併せて、ワクリエ新居浜の体育館も同様に整備する。

(5) 食品ロス削減について

自民クラブ

伊藤 優子議員 (30分)



(1) 市長の公約について

【問】 メリハリのないばらまき行政と表現していたが、来年度の予算編成でどのようにメリハリをつけたのか。また、令和6年度の財政調整基金残高は、どのくらいになるのか。

【答】 子ども・子育て支援の強化と災害と危機管理に強いまちづくりを柱とし、新規事業および事業の拡充を集中し、特徴を前面に押し出した予算編成を行った。令和6年度末の財政調整基金残高は、令和7年度当初予算編成後は約3億8千万円だが、決算後は12億円程度を見込んでいる。

(2) 市民文化センターの建て替えについて

【問】 何年も市民の意見を伺い、市議会も同意しながら、建て替えに向けて考えてきたが、アリーナ建設を考えているのか。閉館時期について、どのように考えているのか。

【答】 アリーナ建設については、立地や財源など数多くの課題があり、市民のニーズや本市の発展につながるコンセプトを立てるためにも、市民と対話しながら、慎重に判断したい。閉館時期については、長寿命化対策の可能性や市民の思いなど、さまざまな角度から検討し、判断したい。

(3) 水道事業について

① PFAS

② 大規模地震対策

(4) 認知症について

(5) 女性管理職の登用について

(6) ウイメンズプラザの各種団体連絡室について

3月6日(木)

みらい新居浜

加藤 昌延議員 (30分)



(1) インターネット上の誹謗中傷及び被害者救済について

① 誹謗中傷の現状

② 被害者救済及び相談体制の整備

【問】 SNSの誹謗中傷対策は市民の安心、安全な生活を守るために喫緊の課題である。誹謗中傷防止と被害者救済の対策強化の仕組みや整備をどのように進めていくのか。

【答】 誹謗中傷防止については、人権のつどい日などでテーマに取り上げており、インターネットリテラシーのさらなる向上を図ることで対策を強化している。被害者救済については、誹謗中傷に関する相談窓口を積極的に周知し、関係機関と連携しながら対応していきたいと考えている。今後も国の動向などに注視しながら、より一層の対策強化を図っていく。

③ 規制の必要性

④ 今後の取組

(2) 部活動の地域移行に伴う課題と支援について

① 地域移行に関する課題

【問】 部活動の地域移行に伴い、本市は指導者不足や費用負担の課題についてどのように認識し、資格取得支援に対し、どう対応するのか所見を伺う。

【答】 部活動の地域移行について

は、子供にとつて最適な指導者の確保が重要な要素で、指導者の資質向上と併せて取り組むべき課題である。資格取得に係る受講料などが経済的負担となっている現状も認識しているため、資格取得支援については、今後検討していきたいと考えている。

② スポーツ団体への支援と情報提供

③ スポーツ団体に対する補助の状況

(3) 市庁舎及び学校における通話録音機能の導入について

(4) 新居浜駅駐輪場について

① 駐車台数・場所の確保

② 防犯灯設置

③ 施設の環境整備

みらい新居浜

神野 恭多議員 (10分)



(1) 未来を創り出す子どもが育ちまわることについて

① 学校に行きづらい子どもたちへの支援

② 教職員の働き方の改善

③ ラーケーションの導入



← 新居浜市議会のホームページへ
映像配信や会議録でさらに詳しく!

自参改革クラブ

渡辺 高博議員 (10分)



(1) プラスチックごみの削減について

無会派

片平 恵美議員 (10分)



(1) 障害者福祉について

① 生活介護

② 保護者等への支援

③ 人権の擁護

(2) 高齢者補聴器購入費補助金について

無会派

井谷 幸恵議員 (10分)



(1) ひとり親家庭医療費助成制度について

① 現状

② 対象の拡大

(2) 上下水道管の老朽化対策について

① 現状

② 今後の計画

自参改革クラブ

伊藤 義男議員 (10分)



(1) 本市保有施設について

① 公共施設再編計画

② 遊休施設、遊休地

(2) コロナ禍の検証と新たな感染症に向けた取組について

(3) コミ焼却灰のPFASについて

自民クラブ

越智 克範議員 (30分)



(1) 令和6年度施政方針について

① 個別避難計画の策定と防災

資料備蓄物資の拡充

問 災害時に高齢者や障害者が被害を受けることが多く、この対策として個別避難計画の策定が進められている。その進捗状況について伺う。

答 41の介護事業者と委託契約を締結し、個別避難計画の作成を進めている。2月28日現在の進捗状況は、提出・審査完了したものが58件、審査中のものが108件となっている。次年度は、委託先を障害福祉サービス事業者にも拡大し、引き続き福祉専門職の協力を得ながら、計画の作成を進める予定である。

② こども家庭センター

③ 新居浜市SDGs推進プラットフォーム

(2) 令和7年度市政運営について

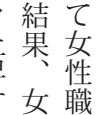
(3) 人口減少対策としての女性活躍推進について

問 地方創生および人口減少対

策として、各自治体は女性活躍推進の取り組みを強化している。本市の取り組み状況と今後の方針を伺う。

自民クラブ

藤田 誠一議員 (10分)



(1) 組織機構改革及び人事異動について

(2) 協議会型地域運営組織について

(3) 太鼓台の大阪・関西万博派遣について

(4) カスタマーハラスメント対策について

(5) 不登校対策について

より実効性のある計画を策定していく。

6月市議会定例会

時間 午前 10 時開会

本会議は CATV112 チャンネルで生中継と録画放送、市議会ホームページで動画配信を行っています。

開催日	内 容
6月10日(火)	議案上程、説明、質疑、委員会付託
6月17日(火)	一般質問・ 予算質疑(個人)
6月18日(水)	一般質問・ 予算質疑(個人)
6月19日(木)	一般質問・ 予算質疑(個人)
6月20日(金)	企画教育委員会開催 市民福祉委員会開催
6月23日(月)	経済建設委員会開催
6月26日(木)	委員長報告、討論、採決